



2021年 9月27日
第38号

JR 東労組 Yokohama

JR東労組横浜地本

発行人 助川一実

編集情宣担当

ホームページ

<http://www.jreu-yokohama1.jp/>



横地申
第14号

新型コロナウイルス感染症に対する不安を解消し、 安全で安心して働ける環境の構築を求める緊急申し入れ

新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、社内外を含め社員の感染リスクは高い状況にあります。特に爆発的な感染拡大となった第5波では、社員の感染者数も世間に比例して増加している状況です。

私たち鉄道従事者は、コロナ禍であっても、社会インフラとしての使命を果たすべく、安全・安定輸送の確保に尽力しています。特に現場第一線で働く社員は、不特定多数のお客さまと接するため、常に感染リスクを負っています。また、鉄道従事者の多くは交代制の勤務形態であり、食事や仮眠などを一つの職場内で行っており、従業員にとって職場は一つの生活空間となっているため、感染リスクが高い環境下での業務であると言えます。

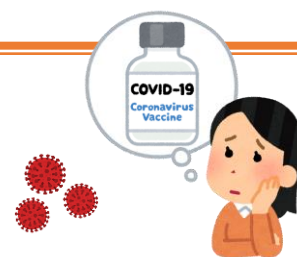
そのような中、一つの職場で複数の社員が短期間に新型コロナウイルス感染症に罹患し、業務中における罹患の可能性があるにも関わらず、社員のプライベートがすべての感染源であるかのような対応がされており、社員からは不安の声が出されています。あらゆる可能性を検討し、正しい原因究明に基づいた感染対策は、社員の不安を解消し、社員の命と健康を守る観点からも重要であると考えます。

また、新型コロナウイルスワクチンの職域接種ならびに自治体での接種が進んでいますが、ワクチン接種に伴う副反応に対する「免除」の取り扱いについて、管理者においても認識に差異があり、社員から「なぜ年休なのか」と不安の声が出されています。

現在第5波の感染者数は減少傾向にありますが、早くも第6波が懸念されています。社員が安全で安心して働ける環境の構築のためにも、以下の項目を申し入れました！

申し入れ項目

1. 社員が業務中に罹患した可能性がある場合は、労働災害の申請を行い、不安の解消に努めること。
2. 短期間に複数の罹患者が出た場合、50名未満の事業場であっても、臨時の安全衛生委員会を開催し原因究明と対策について議論を行うこと。
3. 新型コロナウイルスワクチン接種に伴う副反応に対する「免除」の取り扱いについて、社員間の認識に差異があることから、周知・徹底すること。



社会的使命を果たすため、鉄道従事者が
安全で安心して働ける環境を構築しよう！